

## 会 議 録

会議の名称	令和5年度 深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会 会議
開催日時	令和5年8月18日（金） 18時00分開会 18時43分閉会
場 所	深川市役所3階大会議室
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会（18：00 開始）</li> <li>2. 委嘱状交付（18：01～18：02）</li> <li>3. 市長あいさつ（18：03～18：04）</li> <li>4. 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）会長及び副会長の選任について（18：05～18：11）</li> <li>（2）第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和4年度実績評価について （資料説明等 18：12～18：36）</li> <li>（3）その他（18：37～18：42）</li> </ol> </li> <li>5. 閉会（18：43 終了）</li> </ol>
出席委員	18名
欠席委員	7名（横川優子委員、永倉隆太郎委員、大西康太委員、佐々木弘有委員、小幡浩貴委員、早川達也委員、宮森栄治委員）
事務局	企画総務部企画財政課企画係 5名 （佐藤部長、高田課長、八柳主幹、山崎係長、野中主任）
会議資料	<p>【資料1】議案</p> <p>【資料2】委員名簿及び実績評価班編成表</p> <p>【資料3】深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会設置要綱</p> <p>【資料4】第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和4年度実績評価</p> <p>【資料5】令和4年度実績評価シート1・2</p> <p>【資料6】令和4年度実績評価一覧（数値目標・KPI）</p> <p>【資料7】令和4年度実績評価一覧（事務事業）</p> <p>【資料8】意見書</p> <p>【資料9】令和3年度及び令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業の活用内容</p>
会議の概要（発言要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
田中市長	<p>3. 市長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日はお疲れの中、また週末の貴重な時間にお集まりいただきお礼申し上げます。</li> <li>・今ほど、皆様に委嘱状を交付させていただいた。地方創生の推進を図るため、今後2年間、よろしくお願ひしたい。</li> <li>・日頃からまちづくりにあたり、それぞれの立場でご尽力を賜り、市へご助言をいただいていることに感謝申し上げます。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まち・ひと・しごと創生法に基づき、令和2年度から令和6年度までの5カ年間の計画期間とする「第2期 深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を令和元年度に策定し、関連施策への取組みを推進している。</li> <li>・本日の会議においては、第2期総合戦略における計画期間の3年目にあたる令和4年度の事業実績について各担当所管で事業評価を行っているが、委員の皆様にご意見を評価いただき、取組みに対してご意見等をいただきたい。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">遠藤会長</p>	<p><b>4. 議事</b> (1) 会長及び副会長の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長のご指名を頂戴した。本協議会がますます活性化するよう努める。</li> <li>・深川市は高齢化、少子化が極端に進んでいる中で、まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業を推進していくこととしている。</li> <li>・深川市では農業を中心にまちづくりをしてきたが、後継者がいないなど第1次産業に携わる人が少なくなっている。6次産業化に取り組んでいるが、なかなか進まない。</li> <li>・それぞれのまちが努力をしている。深川市も努力をした中で、各委員の皆さんから意見を頂戴し、このまちの発展に尽くしていかなければならない。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">小林副会長</p>	<p><b>4. 議事</b> (1) 会長及び副会長の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門は政治学、地方政治論の授業では、まち・ひと・しごと創生総合戦略を取り上げている。</li> <li>・学生にいつも言うのは、人口の自然増を望めない状態で、深川市だけが人口が増えることはない。深川市が増えるということは、まわりが減ること。</li> <li>・その中でどこに目標を置いて計画を立てるのが重要。この会議はその評価をしているので非常に重要な会議なのではないか。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">事務局 (八柳主幹)</p>	<p><b>4. 議事</b> (2) 第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和4年度実績評価について</p> <p style="text-align: center;"><u>資料及び今年度の評価方法について事務局から説明</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「資料4 第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和4年度実績評価について」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2期総合戦略では、計画期間における各種施策を着実に推進するため、総合戦略の実施状況や効果を検証し、必要に応じて見直しを行うPDCAサイクルを実施することとしている。</li> <li>・評価の流れは、庁内で自己評価を行い、外部有識者に評価いただき、庁議、市議会決算審査特別委員会で図ることとしている。</li> <li>・評価方法については各施策の評価を担当課ごとに行ってきたので、本日、数値目標とKPIを対象として委員の皆様にご意見をいただき評価とする。また、担当課責任者の評価について反対意見等がなければ、担当課責任者の評価どおりとする。</li> <li>・なお、事務事業は担当課評価のみとしている。</li> </ul> </li> <li>■「資料5 令和4年度実績評価シート」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各数値目標と、KPIを評価する個別シートとなっている。</li> <li>・それぞれに当該年度の実績値、担当課責任者の評価、今後の方向性を記載しているほか、事務事業の担当課評価についても記載しているもの。</li> </ul> </li> <li>■「資料6 令和4年度実績一覧（数値目標、KPI）」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・数値目標、KPIの評価を一覧にまとめているもの。</li> </ul> </li> <li>■「資料7 令和4年度実績一覧（事務事業）」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業の評価を一覧にまとめているもの。</li> </ul> </li> </ul> <p>記載内容に一部誤りがあったため訂正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料5 P37、基本目標3、KPINo.29「婚姻件数」</li> <li>・資料5 P3、基本目標3、KPINo.29「婚姻件数」 担当評価②→③</li> </ul>

<p>遠藤会長</p>	<p>事務局から、資料内容と評価方法について説明があったが、質問等はないか。なければ、事務局から提案のあった形で実績評価を行うこととする。</p>
<p>事務局 (八柳主幹)</p>	<p>4. 議事 (2) 第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和4年度実績評価について</p> <p><u>令和4年度実績評価</u>について事務局から説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料6と資料7を用いて、R4評価の説明をする。</li> <li>KPIは実績値に応じて①～④の凡例の中で、担当課により評価をしているもの。</li> <li>R4実績は、①の「地方創生に非常に効果があった(実績値が目標値を上回った)」が23項目、②の「地方創生に効果があった(実績値が事業開始前より改善した)」が15項目、③の「地方創生に対して引き続き一層の努力が必要」が10項目、④の「外的要因や災害等により実績値が低下などした」が7項目、「評価を行わないもの」が3項目となっている。</li> <li>①の評価となった施策としては、「観光客入込数」などがあげられる。この施策では、コロナ禍におけるマイクロツーリズムの高まり等により、日帰り圏内の観光客が増加し、前年度以上の実績となったとしている。その他は「移住件数」や「地域資源を活用した特産品開発件数」、「有害鳥獣捕獲頭数」などが①の評価としている。</li> <li>②の評価となった施策としては、「実業団や大学等のスポーツ合宿の延宿泊数」などがあげられる。この施策では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による直前キャンセルなどが重なり、目標値には及ばなかったが、R3年度に比べると延宿泊数は大幅に増加し、目標設定時の現状値を超えることができたとしている。その他は、「乳幼児健康診査及び1歳6カ月・3歳児健康診査の受診率」や「高齢者バス利用料金助成事業登録者数」などが②の評価としている。</li> <li>③の評価となった施策としては、「合計特殊出生率」などがあげられる。この施策では、合計特殊出生率は、当該年度の人口や年齢構成などにより、数値のばらつきがみられるが、子育て支援等に引き続き取り組み、数値の向上を目指すこととしている。その他は、「ふかがわポーク等加工品の販売額」などが③の評価としている。</li> <li>④の評価となった施策としては、「市外物産イベントにおける出店回数」などがあげられる。この施策では、新型コロナウイルス感染症の影響で前年同様イベントの大半が中止となったことにより、事業進捗を得られなかったとしている。その他は、「ふかがわシードル等果実酒の製造数量」などが④の評価としている。</li> <li>今後の方向性は、①の「関連事務事業が効果的であったことから取り組みの追加など更に発展させる」が0項目、②の「関連事務事業を継続する」が50項目、③の「関連事務事業等の内容の見直し(改善)を行う」が0項目、「評価を行わないもの」が2項目となっており、すべて②としているもの。</li> <li>事務事業は、①の「本事業は地方創生に有効であった」が57項目、②の「地方創生に一定程度有効であると考えられるため、今後も継続した事業展開が必要(外的要因や災害等の影響を受けた事業を含む)」が29項目、③の「関連事務事業等の内容の見直し(改善)を行う必要がある」が1項目、「評価を行わないもの」が5項目となっている。</li> <li>これらの評価に対して、事前に質問を4件いただいている。担当課長から直接回答することとしていたが、配付した質問一覧表により事務局から説明する。</li> <li>質問1、資料5の2ページ、基本目標1「主要作物作付面積」について、①担当課責任者評価欄の外的要因について具体的に説明してほしい。②深川市において農地所有者で2ha未満の農業従事者はどれほどいるのか。また、2ha未満の農地の面積合計はどのくらいか。 【回答】①全国でコメの需要が減少する中、コロナ禍によりさらにコメの国内需要が落ち込み、米価下落や在庫滞留等の影響が生じていることから、国では需要に応じた主食用米の作付等を推進しており、本市においても主食用米の作付にあっては、全道で取り組む生産の目安を基本とした作付けとしているため、作付量が減少しているもの。</li> </ul>

	<p>②令和5年8月現在の農家台帳では、面積2ha未満の農家戸数は55件あり、合計面積は41.198088haとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問2、資料5の47ページ、事務事業No.62「空家等対策計画の策定」の決算額は、計画策定の費用とは思えない額だが何か。昨年資料ではR3決算額は0千円である。 【回答】事務事業62「空家等対策計画の策定」の決算額は誤りのため、今年度、前年度ともに0千円に訂正する。</li> <li>・質問3、資料5の55ページ、①事務事業No.72、②事務事業No.73の前年度決算額が昨年資料のR3決算額と異なる。③事務事業No.72はR3より実績値増であるが、決算額は減っているのか。 【回答】①事務事業No.72「特定健康診査、特定保健指導等」の前年度決算額は、昨年度資料に誤りがあったもので、本年度資料の決算額2,085万1千円が正しい。 ②事務事業No.73「がん検診」の前年度決算額は誤りのため、1,641万9千円に訂正する。 ③特定健診受診率の実績は、R4はR3より1%増加しており、健診に係る委託料は増えているが、受診率向上に係る業務（対象者へのハガキ送付、データ分析等）の委託料が、人口減により減額となったことによりR4決算額が減額になっている。</li> <li>・質問4、資料5の59ページ、事務事業77の前年度決算額が7万1千円となっている。昨年資料ではR3は0千円であるが転記誤りではないか。 【回答】事務事業No.77「人材育成事業（商工労政課）」前年度決算額は誤りのため、0千円に訂正する。</li> <li>・事前にあった質問は以上。</li> <li>・資料作成に当たっては誤りのないよう留意する。</li> <li>・反対意見等がなければ、各施策について担当課責任者の評価どおりとさせていただきたい。</li> <li>・評価についての説明は以上。</li> </ul>
<p>遠藤会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から実績評価について説明があったが、質問等はないか。</li> <li>・この他にないようなので、第2期総合戦略の令和4年度実績評価については、担当課責任者の評価どおりとする。</li> <li>・これで、(2)の議題を終了する。</li> <li>・最後に、議題の(3)その他に移る。事務局から何かあるか。</li> </ul>
<p>事務局 (山崎係長)</p>	<p>4. 議事 (3) その他</p> <p>■「資料9 令和3年度及び令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業の活用内容」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、地域の実情に応じてきめ細やかに効果的・効率的に必要な事業を実施できるよう国から交付されるもの。</li> <li>・各地方公共団体において、事業終了後に臨時交付金を活用して実施した事業の実施状況及びその効果について公表することとなっている。</li> <li>・R3年度については、全交付金事業が完了し額の確定通知を受領したのが遅く、昨年の協議会には間に合わなかったことから、今回の協議会において交付金の活用内容等を説明させていただくもの。</li> <li>・この資料は、市ホームページで公表中。</li> </ul>
<p>遠藤会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業の活用内容について説明があったが、質問等はないか。</li> <li>・なければ、委員の皆さんから何かあるか。</li> <li>・なければ、以上で本日の会議を終了とする。</li> </ul>